



平成26年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東 福

上場会社名 佐世保重工業株式会社
コード番号 7007 URL <http://www.ssk-sasebo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 湯下 善文

問合せ先責任者 (役職名) 総合管理本部副本部長 (氏名) 澁谷 明幸

TEL 03-6861-7312

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	15,227	24.7	2,503		2,494		3,222	
25年3月期第2四半期	20,221	44.3	1,384		1,730		1,993	

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,666百万円 (%) 25年3月期第2四半期 2,093百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	20.09	
25年3月期第2四半期	12.43	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	58,674	24,678	42.1
25年3月期	65,795	27,345	41.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 24,678百万円 25年3月期 27,345百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期		0.00		0.00	0.00
26年3月期		0.00			
26年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	16.5	2,400		2,800		3,600		22.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	161,955,000 株	25年3月期	161,955,000 株
期末自己株式数	26年3月期2Q	1,491,420 株	25年3月期	1,488,730 株
期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	160,464,250 株	25年3月期2Q	160,468,140 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。そのため、当社としてその実現を約束する趣旨のものではなく、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控え下さいますようお願いいたします。実際の業績等は様々な要因により、この業績見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。なお、実際の業績に影響を与える要因には、当社グループを取り巻く経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどが含まれます。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、安倍政権の経済政策に伴う円高修正を背景に企業収益や雇用情勢等が改善するなど、緩やかに景気回復へ向かう動きが見られました。一方、海外経済においては、欧州景気に下げ止まりの動きが見られたものの、米国財政問題の動向や今後の新興国の成長力低下などが懸念されます。これら海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっていることに加え、来年4月からの消費税率引き上げ決定による景気の腰折れも懸念され、引き続き先行き不透明な状況が続いております。

こうした状況において当社グループは、連結受注高については、新造船6隻を受注したことなどから前年同四半期比58.6%増加の21,909百万円となりました。連結売上高については、低船価の新造船建造が進捗したことにより前年同四半期比24.7%減少の15,227百万円となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間末の連結受注残高は前年同四半期比4.2%増加の35,874百万円となりました。損益面においては、売上高の減少及び低船価の新造船受注による受注工事損失引当金の増加に伴い損益が悪化したことなどから、連結営業損益は2,503百万円の損失（前年同四半期連結営業損失1,384百万円）、連結経常損益は2,494百万円の損失（前年同四半期連結経常損失1,730百万円）となりました。これに希望退職の実施に伴う特別損失及び法人税等を計上した結果、連結四半期純損失は3,222百万円（前年同四半期連結四半期純損失1,993百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①船舶

船舶部門の受注高は、新造船として77千重量トンバルクキャリアー5隻及び84千重量トンバルクキャリアー1隻の計6隻を受注したほか、海上自衛隊、米海軍艦船及び一般商船等の修理工事等に加え17,806百万円となり、前年同四半期比52.2%増加しました。売上高は、低船価の新造船建造が進捗したことにより、前年同四半期比27.5%減少の13,164百万円となり、セグメント損益は2,683百万円の損失（前年同四半期セグメント損失1,597百万円）となりました。当第2四半期連結累計期間に引渡した新造船は75千重量トンバルクキャリアー4隻です。この結果、新造船の受注残は11隻となりました。

②機械

機械部門の受注高は、機器工事として船舶用機器や一般産業機械等で3,444百万円となり、前年同四半期比132.1%増加しました。これは主として船用LPGタンクシステムの受注が好調だったことなどによるものであります。売上高は、クランク軸の価格低迷の影響等により前年同四半期比2.4%減少の1,404百万円となり、セグメント損益は137百万円の損失（前年同四半期セグメント損失64百万円）となりました。

③その他

主な事業の内訳は給食事業その他で、受注高、売上高ともに前年同四半期比4.0%増加の657百万円となりました。セグメント損益は前年同四半期比80.4%減少の8百万円の利益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

総資産は、前連結会計年度末比7,120百万円減少し58,674百万円となりました。これは主として借入金の返済に伴う現金及び預金の減少などによるものであります。なお、流動資産は、前連結会計年度末比4,800百万円減少し34,487百万円、固定資産は、前連結会計年度末比2,320百万円減少し24,187百万円となりました。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末比4,453百万円減少し33,996百万円となりました。なお、流動負債は前連結会計年度末比2,607百万円増加し23,527百万円となりました。これは主として新造船の受注に伴う前受金の増加などによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末比7,060百万円減少し10,468百万円となりました。これは主として借入金の返済等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、連結四半期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末比2,666百万円減少し24,678百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末比2,580百万円減少し21,080百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは1,359百万円の収入となりました。これは主として新造船の受注に伴う前受金の増加などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは3,595百万円の収入となりました。これは主として定期預金の払い出しなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは7,522百万円の支出となりました。これは主として長期借入金の返済によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済につきましては、政府による財政・金融政策への期待感から為替が円安基調へと転換し、緩やかではあるものの回復の兆しが見え始めている一方、米国財政問題や今後の新興国経済の動向など世界経済を巡る不安定要因がわが国の景気を下押しするリスクとなっていることに加え、来年4月からの消費税引き上げ決定による景気の腰折れも懸念され、引き続き先行きは不透明な状況であります。

造船業界においては、船腹供給過剰の状況が続いており、運賃も低迷していることなどから新造船の船価は依然低水準にとどまっております。さらに受注環境においても新造船の竣工が史上最高レベルで続いているため、今後、新規受注に向けた競争は益々激化していくものと予想されます。従いまして、国内造船所においては、韓国・中国との競争に打ち勝つためのさらなるコスト削減、高付加価値船の開発による競争力強化、ベテランから若手への技能伝承などが引き続き大きな課題となっております。

また、機械業界においては、東日本大震災による被災地復興需要が見込まれるものの、当社の主力製品であるクランク軸など船舶用機器業界においては、新造船マーケットの低迷等による影響を受けて採算性の悪化が懸念される状況にあります。

このような厳しい経営環境に対応するため、当社グループは「新中期経営計画」を策定し本年5月17日に公表いたしました。本計画においては、売上構造の転換により売上規模の維持・拡大を図ると同時に、事業運営体制の見直し・強化を行い、環境変化に対して耐久性のある収益構造を確立することを基本方針とし、2015年度の黒字化及び2016年度以降の収益安定を実現すべく全社を挙げて取り組んでおります。

なお、現時点においては、平成25年8月12日に公表いたしました業績予想に変更はありませんが、今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
期中における重要な子会社の異動はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,403	21,262
受取手形及び売掛金	11,489	10,321
有価証券	40	-
商品及び製品	15	14
仕掛品	619	1,401
原材料及び貯蔵品	346	476
その他	1,371	1,010
流動資産合計	39,287	34,487
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,064	7,842
土地	5,753	5,640
その他(純額)	5,935	5,649
有形固定資産合計	19,753	19,132
無形固定資産	200	184
投資その他の資産		
投資有価証券	3,241	3,291
その他	3,577	1,845
貸倒引当金	265	265
投資その他の資産合計	6,553	4,870
固定資産合計	26,507	24,187
資産合計	65,795	58,674
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,926	9,631
設備関係支払手形	61	132
短期借入金	5,369	4,619
未払法人税等	17	46
前受金	1,493	2,938
保証工事引当金	29	28
受注工事損失引当金	2,325	4,009
その他	1,698	2,121
流動負債合計	20,920	23,527
固定負債		
長期借入金	13,522	6,788
繰延税金負債	325	395
退職給付引当金	3,428	3,019
特別修繕引当金	34	35
その他	218	230
固定負債合計	17,529	10,468
負債合計	38,449	33,996

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,414	8,414
資本剰余金	5,148	5,148
利益剰余金	14,638	11,415
自己株式	977	978
株主資本合計	27,222	23,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	239	723
繰延ヘッジ損益	116	44
その他の包括利益累計額合計	122	679
純資産合計	27,345	24,678
負債純資産合計	65,795	58,674

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	20,221	15,227
売上原価	20,320	16,690
売上総損失()	98	1,463
販売費及び一般管理費	1,285	1,040
営業損失()	1,384	2,503
営業外収益		
受取利息及び配当金	44	37
為替差益	-	184
その他	28	9
営業外収益合計	72	231
営業外費用		
支払利息	224	142
為替差損	182	-
その他	12	79
営業外費用合計	418	222
経常損失()	1,730	2,494
特別利益		
固定資産売却益	593	59
ゴルフ会員権売却益	0	0
特別利益合計	594	59
特別損失		
固定資産売却損	-	13
固定資産処分損	6	26
投資有価証券評価損	485	-
退職特別加算金	-	693
その他	20	40
特別損失合計	511	773
税金等調整前四半期純損失()	1,648	3,208
法人税、住民税及び事業税	110	14
過年度法人税等	234	-
法人税等合計	345	14
少数株主損益調整前四半期純損失()	1,993	3,222
少数株主利益	-	-
四半期純損失()	1,993	3,222

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	1,993	3,222
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	102	484
繰延ヘッジ損益	3	72
その他の包括利益合計	99	556
四半期包括利益	2,093	2,666
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,093	2,666
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	1,648	3,208
減価償却費	1,279	1,056
受注工事損失引当金の増減額(は減少)	2,448	1,683
退職給付引当金の増減額(は減少)	116	409
保証工事引当金の増減額(は減少)	6	1
特別修繕引当金の増減額(は減少)	5	0
受取利息及び受取配当金	44	37
支払利息	224	142
為替差損益(は益)	38	56
固定資産売却損益(は益)	593	45
固定資産処分損益(は益)	6	26
投資有価証券評価損益(は益)	485	-
売上債権の増減額(は増加)	842	1,168
たな卸資産の増減額(は増加)	283	910
未収消費税等の増減額(は増加)	333	160
その他の流動資産の増減額(は増加)	242	166
仕入債務の増減額(は減少)	4,947	295
前受金の増減額(は減少)	1,231	1,445
その他の流動負債の増減額(は減少)	2,000	594
その他	-	39
小計	7,135	1,441
利息及び配当金の受取額	44	33
利息の支払額	225	147
法人税等の支払額	1,694	8
法人税等の還付額	-	41
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,010	1,359
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	3,121	45
定期預金の払戻による収入	1,040	3,472
有形固定資産の除却による支出	20	4
有形固定資産の取得による支出	698	483
有形固定資産の売却による収入	633	163
無形固定資産の取得による支出	7	17
投資有価証券の売却及び償還による収入	-	510
貸付けによる支出	-	0
貸付金の回収による収入	0	0
その他	6	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,167	3,595

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	100	-
長期借入金の返済による支出	2,076	7,484
配当金の支払額	797	4
自己株式の取得による支出	0	0
その他	7	32
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,982	7,522
現金及び現金同等物に係る換算差額	38	14
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	14,198	2,580
現金及び現金同等物の期首残高	41,882	23,661
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,683	21,080

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注3)
	船舶	機械	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,150	1,438	19,589	632	20,221	—	20,221
セグメント間の内部売上高又は振替高	9	—	9	765	774	△774	—
計	18,159	1,438	19,598	1,398	20,996	△774	20,221
セグメント利益又は損失(△)	△1,597	△64	△1,662	43	△1,618	234	△1,384

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、給食事業、ゴルフ場事業及び運輸事業等を含んでおります。

2 各セグメントに配分している一般管理費等の全社費用は予算金額を基に行っており、実際発生額との予算差異については配分しておりません。セグメント利益の調整額として計上している234百万円には、この予算差異を計上しております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注3)
	船舶	機械	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,164	1,404	14,569	657	15,227	—	15,227
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	776	776	△776	—
計	13,164	1,404	14,569	1,434	16,003	△776	15,227
セグメント利益又は損失(△)	△2,683	△137	△2,820	8	△2,811	307	△2,503

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、給食事業、ゴルフ場事業及び運輸事業等を含んでおります。

2 各セグメントに配分している一般管理費等の全社費用は予算金額を基に行っており、実際発生額との予算差異については配分しておりません。セグメント利益の調整額として計上している307百万円には、この予算差異を計上しております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)		当第2四半期連結会計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
船舶	18,285	88.0	12,884	83.0	△5,401	△29.5
機械	1,851	8.9	1,976	12.7	125	6.8
その他	632	3.1	657	4.3	25	4.0
合計	20,769	100.0	15,518	100.0	△5,251	△25.3

② 受注状況

(単位百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)		当第2四半期連結会計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
船舶	11,698	84.7	17,806	81.3	6,108	52.2
機械	1,483	10.7	3,444	15.7	1,960	132.1
その他	632	4.6	657	3.0	25	4.0
合計	13,815	100.0	21,909	100.0	8,093	58.6

③ 受注残高

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間末 (平成24年9月30日)		当第2四半期連結会計期間末 (平成25年9月30日)		増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
船舶	32,471	94.3	32,201	89.8	△270	△0.8
機械	1,969	5.7	3,672	10.2	1,703	86.5
その他	—	—	—	—	—	—
合計	34,440	100.0	35,874	100.0	1,433	4.2

(注1) 受注残高は工事完成基準で記載しております。当第2四半期連結会計期間末の受注残高の内、船舶5,711百万円を、前第2四半期連結会計期間末の受注残高の内、船舶15,612百万円を工事進行基準による売上高として計上しております。

(注2) 前連結会計年度末外貨建受注残高の為替レート変動による増加額492百万円は、当第2四半期連結会計期間末受注残高より減算しております。

④ 販売実績

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)		当第2四半期連結会計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
船舶	18,150	89.8	13,164	86.5	△4,986	△27.5
機械	1,438	7.1	1,404	9.2	△33	△2.4
その他	632	3.1	657	4.3	25	4.0
合計	20,221	100.0	15,227	100.0	△4,994	△24.7